

地震対策



屋内危険性チェック

ステップ1 チェックする部屋を選ぶ

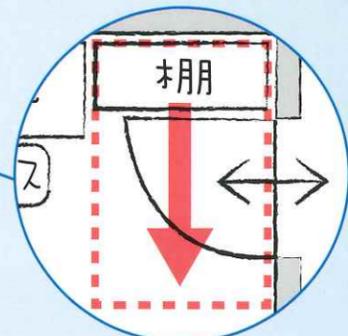
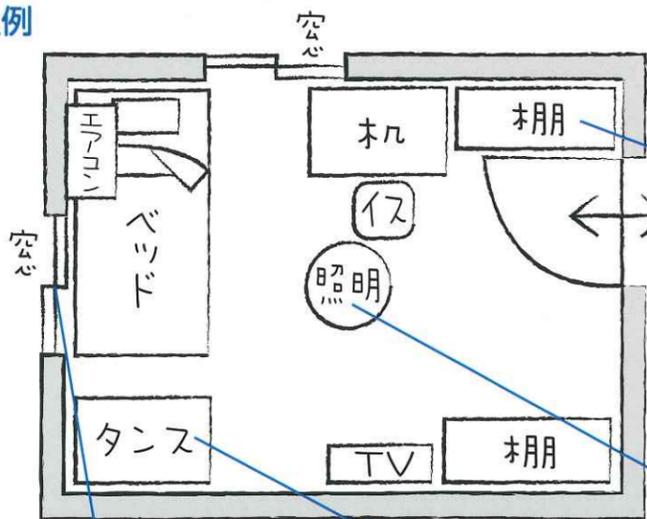
重い家具や背の高い2段積み・ガラス板がはめ込まれた家具などがある部屋を選ぶ

ステップ2 下図の描き方

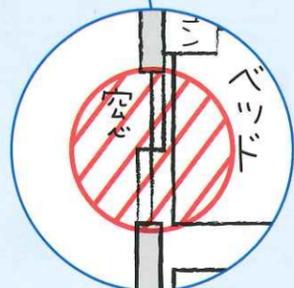
- ①窓やドアの位置を描く
- ②家具(棚、机、ベッドなど)の置き場所を描く
- ③棚の上に置くガラス製品などの物品位置に印をつける
- ④照明やエアコン、車輪の付いたワゴンやコピー機の置き場所を描く



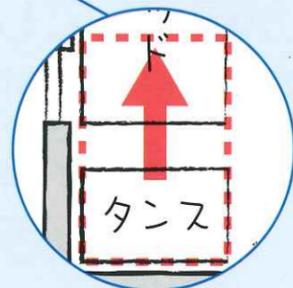
記入例



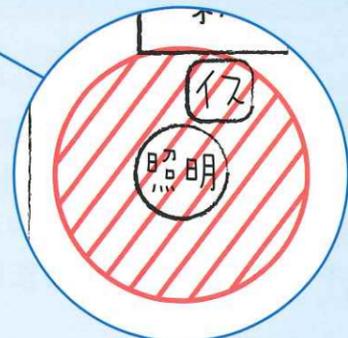
棚転倒⇒ドア封鎖



窓ガラス飛散



タンス転倒



照明飛散

ステップ3 下図を描く

①居間・台所

②寝室

③子ども部屋

④その他()

ステップ4 危険な範囲に斜線を描く

棚などの転倒、照明落下、窓ガラスの飛散箇所など

(注1) 棚などの転倒の場合、家具の高さと同程度に矢印を付けると、下敷きになる範囲が分かる

(注2) 車輪付のワゴン、冷蔵庫、コピー機などの移動範囲にも印を付ける

